

授業科目名	キャリアマネジメント I a		
担当者名	油井文江(実務家教員) *全14回授業を担当		
開講年度学期	2017年度 前期	開講キャンパス	目白キャンパス
単位数	2	開講期・授業区分	週間授業
授業の概要	<p>キャリアマネジメント講座の最終目標は、受講された皆さんが社会環境の変化を理解し、自身の働き方・生き方の選択として、自信を持って再就職に取り組んでいただくことです。これからの社会が女性に求めるものは男性と等しく多様であり、また持てる能力の生き生きとした発揮です。</p> <p>キャリアマネジメント I では、世代や抱える事情で異なる課題をグループ討議などで共有することで、現在の雇用状況を理解し、社会に残る性差バリアーを越える女性の働き方・働き方の修得と、再就職・就業に必要な実践的スキルを身につけていただきます。</p>		
授業の到達目標及びテーマ	<p>1: 変化する社会環境に対し、主体的に働くための考え方の基本を修得する。</p> <p>2: 女性の就業に必要な能力とその課題を理解する。</p> <p>3: 再就職に必要なテクニカルなスキルを修得する。</p>		
授業計画	1.	オリエンテーション: 「働く」ことを考える	グループワーク
	2.	働く環境を知る: 現状と課題—就業形態、正規・非正規ギャップなど	ケースメソッド
	3.	自分を知る: 自己理解、社会ニーズ、ライフプラン	グループワーク
	4.	女性のキャリア形成: 様々なワークトラックとキャリアデザイン	ケースメソッド
	5.	企業における主体的な働き方: ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ	課題発見・解決型学修
	6.	業種、職種を知る: 世の中の業種・業界、多様な仕事、専門性、資格	ケースメソッド
	7.	会社の選び方: 経済の動きと女性の働き方、ホワイト企業	課題発見・解決型学修
	8.	求められるビジネス能力: 論理的思考、創造的思考	課題発見・解決型学修
	9.	ヒューマンスキルアップ: ジェンダー意識、セルフエスティーム	グループワーク
	10.	ヒューマンスキルアップ: コミュニケーション技法、ビジネスマナー	グループワーク
	11.	応募書類の書き方: 履歴書・職務経歴書、カバーレターの書き方	ワークショップ
	12.	採用面接対策: 面接までの準備、面接のポイント	ワークショップ
	13.	女性の仕事を支援する組織や法律: 労働組合、労働基準法、採用関連	課題発見・解決型学修
	14.	まとめ: 受講者の習得成果のフィードバックと共有	課題発見・解決型学修
成績評価の方法	授業への取組姿勢と課題の評価を総合的に評価		
使用テキスト	オリジナルレジュメを授業ごとに配付		
参考書(参考資料等)	特になし		
その他 (受講生への要望など)	不確実な時代の中で、自立した意識と職業能力を持つことが益々大事になっています。その主要な手段ともなる社会での就業に向けて、環境理解と自己理解、就職スキルと就業スキルの基礎を一緒に学びましょう。		

授業科目名	キャリアマネジメントIB		
担当者名	上田晶美(実務家教員) *全14回授業を担当		
開講年度学期	2017年度 前期	開講キャンパス	目白キャンパス
単位数	2	開講期・授業区分	週間授業
授業の概要	働き方改革の中で、女性である私たちの人生はますます様変わりしていく時代です。自身の過去を振り返り、未来に向けて、「人生100年時代」をキーワードにライフプランを再構築していきます。		
授業の到達目標及びテーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分のキャリアを振り返り「ライフシフト100年時代」の今後を考える 2. ビジネスに必要なコミュニケーションスキルやマネジメントスキルを磨く 3. 自分のライフプランを再構築する 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 自己紹介のプレゼンテーション法 2. 将来のライフプランについて考える ワークライフバランスとライフシフト 3. セルフブランディング 1 自分の強みの洗い出し 過去のキャリアの棚卸し 4. セルフブランディング 2 地域と時代のニーズ ブレインストーミングとKJ法 5. セルフブランディング 3 第一次キャリアプラン発表 6. ビジネスコミュニケーションスキル 1 クリティカルシンキング 7. ビジネスコミュニケーションスキル 2 インバケット思考法 8. ビジネスコミュニケーションスキル 3 アサーション コーチング 9. マネジメントスキル モチベーションアップ 傾聴 10. マネジメントスキル リフレーミング マインドセット 11. 各自のライフプランについてビジョンマッピング 12. ライフプラン 第二次ライフプラン プレゼンテーション 13. 応募書類 履歴書、職務経歴書、カバーレター ビジネスプランシート 14. 面接、プレゼンテーションの仕方 まとめ 		
成績評価の方法	出席 30% , 成果物 30% , 授業の取り組み姿勢 40%		
使用テキスト	オリジナルレジュメ、ワークシートを授業ごとに配布		
参考書(参考資料等)	ライフシフト 100年時代の人生戦略		
その他 (受講生への要望など)	学んで行く仲間が大切です。お互いが学び合う気持ちを大切に能動的に講義に参加していきましょう。グループワークの多い講義となりますので、積極的なご参加よろしくお願いたします。		

	IT	1	
		Word PowerPoint IT	Excel
	Word		Excel PowerPoint
	1.		
	2.	IT	
	3.	Word	
	4.	Word	
	5.	Word	
	6.	Excel	
	7.	Excel	
	8.	Excel	
	9.	Excel	
	10.	Excel	
	11.	Excel	
	12.	PowerPoint	
	13.	PowerPoint	
	14.		

授業科目名	時事英語 1 (Current English I)		
担当者名	Anne Dodd		
開講年度学期	2017年度 前期	開講キャンパス	目白キャンパス
単位数	2	開講期・授業区分	週間授業
授業の概要			
授業の到達目標 及びテーマ	The main aim of this course is to encourage students to improve their speaking and listening skills in order to gain more confidence, greater fluency and increase their vocabulary when using English		
授業計画	1. Placement interviews		
	2. Prepare questions to interview a partner Student to student interview and take notes Interview your teacher / make notes. Write a summary and comments for HWK		
	3. In groups of 4 share interview information Change partners to give information about another student from notes. Think of more in-depth questions to get to know your teacher better		
	4. Review errors from homework assignment Short dictation & vocabulary building exercises		
	5. One minute topic: note taking/ vocabulary building /presenting ideas in pairs / Q& A Repeat topic to a group of 4		
	6. Two minute topic: note taking/ vocabulary building / presenting ideas in pairs/ Q&A		
	7. Vocabulary Quiz How to express your opinions in English How to agree or disagree with someone		
	8. Group discussion topic : notes / personal opinion and reasons / vocabulary		
	9. Group discussion topic : notes / personal opinion and reasons / vocabulary		
	10. Summarizing a short article with comments		
	11. Short class presentation in pairs : how to speak clearly and simply		
	12. Short class presentation in groups : how to impress your audience		
	13. Vocabulary quiz and review ideas from this semester's topics		
	14. Course feedback		
成績評価の方法	Students on this course will be evaluated on attendance, class participation, assignments and presentations – 25% for each category.		
使用テキスト	No textbook is required		
参考書(参考資料等)			
その他 (受講生への要望など)			

	2 Current English		
	Anne Dodd		
	The aim of this course is to focus on listening and speaking skills confidence and improve fluency.		
	1. Introduction to the class. Classroom language. Self introduction and brief report to the class		
	2. Student to student in depth interviews and class report.		
	3. Error correction from homework Vocabulary and mind map for topic on working women in Japan for discussion		
	4. Previous work experience report in groups		
	5. Begin work on CV in English with templates, layout ideas, fonts and		
	6. Problems facing women in the workplace. Discussion & possible solutions		
	7. Vocabulary Quiz & further work on individual CVs		
	8. Discuss a Japanese political or social issue		
	9. Discuss a global issue involving Japan		
	10. How to handle typical interview questions		
	11. How to handle more depth interview questions / group practice		
	12. Videotape interviews of students		
	13. Vocabulary overview / review discussion points		
	14. Course feedback		
	Students on this course will be evaluated on attendance, class participation, assignments and interviews 25% for each category.		
	No textbook required		

授業科目名	労働法と人事労務管理 (社会保険労務士準備講座)		
担当者名	樋野 昌法(実務家教員)		
開講年度学期	2017年度 前期	開講キャンパス	目白キャンパス
単位数	2	開講期・授業区分	週間授業
授業の概要	企業経営に関連のある労働関係法規および人事労務管理の基礎について教授することを目的とする。法律自体の解説に加え、ケーススタディを用いたグループワークを実施しながら、実践的な知識を習得頂くことを目指す。また、当科目は社会保険労務士の資格取得を目指す学生への入門講義も兼ねている。		
授業の到達目標 及びテーマ	テーマ:労働基準法その他の労働関係法 到達目標:今後働くときに備えて知っておいたほうが良い基本知識の習得		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション～労働法に関する身近な例～ 2. 労働基準法①(総則) 3. 労働基準法②(労働契約) 4. 労働基準法③(賃金) 5. 労働基準法④(労働時間等①) 6. 労働基準法⑤(労働時間等②) 7. 労働基準法⑥(就業規則等) 8. 労働安全衛生法 9. その他労働法規①(パートタイム労働法他) 10. その他労働法規②(育児・介護休業法他) 11. その他労働法規③(労働者派遣法他) 12. 労務管理①(人事考課他) 13. 労務管理②(モチベーション理論他) 14. 労務管理③(労働経済他) 	樋野(実務家教員)	
成績評価の方法	定期試験		
使用テキスト	みんなが欲しかった!社労士の教科書 2017 年度 TAC 社会保険労務士講座編著(TAC 出版)		
参考書(参考資料等)	都度補足プリント配布		
その他 (受講生への要望など)	労働関係法規は、雇用される全ての方に密接に関係するため、社会保険労務士や人事・労務の仕事我希望しない場合でも、本講義の内容は有意義なものになるはずです。興味がある方は積極的に受講して下さい。		

授業科目名	健康保険法と国民年金法 (社会保険労務士準備講座)		
担当者名	樋野 昌法(実務家教員)		
開講年度学期	2017年度 前期	開講キャンパス	目白キャンパス
単位数	2	開講期・授業区分	週間授業
授業の概要	本講義では、健康保険法および国民年金法について教授することを目的とする。法律自体の解説に加え、ケーススタディを用いたグループワークを実施しながら、実践的な知識を習得頂くことを目指す。また、当科目は社会保険労務士の資格取得を目指す学生への入門講義も兼ねている。		
授業の到達目標 及びテーマ	到達目標: 今後働くときに備えて知っておいたほうが良い基本知識の習得 テーマ: 健康保険法、国民年金法		
授業計画	1. オリエンテーション～健康保険、国民年金の身近な例～ 2. 健康保険法①(総則) 3. 健康保険法②(被保険者等) 4. 健康保険法③(標準報酬) 5. 健康保険法④(費用の負担) 6. 健康保険法⑤(傷病に関する給付) 7. 健康保険法⑥(死亡・出産に関する給付等) 8. 国民年金法①(総則及び被保険者) 9. 国民年金法②(費用の負担) 10. 国民年金法③(老齢基礎年金) 11. 国民年金法④(障害基礎年金) 12. 国民年金法⑤(遺族基礎年金) 13. 国民年金法⑥(独自給付等) 14. 国民年金法⑦(給付通則及び基金等)	樋野(実務家教員)	
成績評価の方法	定期試験		
使用テキスト	みんなが欲しかった! 社労士の教科書 2017 年度 TAC 社会保険労務士講座編著(TAC 出版)		
参考書(参考資料等)	都度補足プリント配布		
その他 (受講生への要望など)	社会保険の知識は全ての社会人にとって重要なので、社会保険労務士や人事・労務の仕事を希望しない場合でも、本講義の内容は有意義なものになるはず。事例を交えて分かりやすく講義したいと思いますので、興味がある方は積極的に受講して下さい。		

授業科目名	I 消費者問題と関連法規 消費生活アドバイザー(消費生活相談員)資格準備講座																
担当者名	工藤千草(実務家教員)、安藤昌代(実務家教員)																
開講年度学期	2017年度 前期	開講キャンパス	目白キャンパス														
単位数	1	開講期・授業区分	週間授業(前期7回)														
授業の概要	<p>平成 28 年度より、消費生活に関する資格や制度が大きく変わり、消費生活アドバイザー資格と消費生活相談員資格が同時に取得できることになりました。</p> <p>企業や業界等の第一線で幅広い活躍を期待できるのが、消費生活アドバイザーで、消費生活相談員は、消費者団体、国・地方公共団体の相談窓口に従事する際に必要な国家資格です。</p> <p>この資格試験は科目数も多く、内容也多岐に渡っています。特に平成 28 年度の制度改正に伴い、従来より経済系の基礎知識が重要視されることになりました。そこで科目内容を「消費者問題系」と「経済系」の 2 分野にわけ、前期・後期を合わせた 4 科目の中で、資格取得を目指せるようになっていきます。なお、前期・後期の期を跨がないように組み立ててありますので、単期のみ受講も可能です。</p>																
授業の到達目標及びテーマ	<p>到達目標:消費者としての視点を持ち、暮らしが法律とかかわっていることを知って、自ら考察できる「賢い・自立した生活者」になることを目指します。</p> <p>前期テーマ:現在の暮らしが過去の消費者問題により築かれたこと、消費者としての権利を意識すること、消費者関連の法律を理解すること。</p>																
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1. 4/10 消費者問題①(消費者問題と消費者の権利)</td> <td>工藤</td> </tr> <tr> <td>2. 4/17 消費者問題②(消費者教育、商品テスト)</td> <td>工藤</td> </tr> <tr> <td>3. 5/22 法律①(消費者問題と民法)</td> <td>安藤</td> </tr> <tr> <td>4. 5/29 法律②(消費者契約法)</td> <td>安藤</td> </tr> <tr> <td>5. 6/05 法律③(特定商取引法(1))</td> <td>安藤</td> </tr> <tr> <td>6. 6/12 法律④(特定商取引法(2)と景品表示法)</td> <td>安藤</td> </tr> <tr> <td>7. 7/03 基礎演習:消費者問題系</td> <td>工藤</td> </tr> </table>			1. 4/10 消費者問題①(消費者問題と消費者の権利)	工藤	2. 4/17 消費者問題②(消費者教育、商品テスト)	工藤	3. 5/22 法律①(消費者問題と民法)	安藤	4. 5/29 法律②(消費者契約法)	安藤	5. 6/05 法律③(特定商取引法(1))	安藤	6. 6/12 法律④(特定商取引法(2)と景品表示法)	安藤	7. 7/03 基礎演習:消費者問題系	工藤
1. 4/10 消費者問題①(消費者問題と消費者の権利)	工藤																
2. 4/17 消費者問題②(消費者教育、商品テスト)	工藤																
3. 5/22 法律①(消費者問題と民法)	安藤																
4. 5/29 法律②(消費者契約法)	安藤																
5. 6/05 法律③(特定商取引法(1))	安藤																
6. 6/12 法律④(特定商取引法(2)と景品表示法)	安藤																
7. 7/03 基礎演習:消費者問題系	工藤																
成績評価の方法	出席率4割、中間評価(演習)2割、期末テスト4割																
使用テキスト	「消費生活アドバイザー受験合格対策 2017 年版(丸善出版)」から適宜、資料を作成して配布																
参考書(参考資料等)																	
その他(受講生への要望など)	期末テストは、小論文を予定しています。配布資料で総合的に復習をしておきましょう。																

	(
			7
	<p>" 28</p> <p style="text-align: right;">28</p> <p style="text-align: center;">2</p> <p>4</p> <p style="text-align: right;">"</p>		
	<p>"</p> <p style="text-align: center;">"</p>		
	<p>1. 4/24</p> <p>2. 5/1</p> <p>3. 5/8</p> <p>4. 5/15</p> <p>5. 6/19</p> <p>6. 6/26</p> <p>7. 7/10</p>		
	2017		

成績評価の方法	試験を行います。それだけでなく、毎回のレポート、授業での発言、ワークショップでの発言内容等により、総合的に評価します。
授業外で行うべき学修(準備学修・事後学修等)	【事前学習】定期的に自分の関心を持っていること、活動していること等を発表してもらいますので、発表前には事前の学習が必要になります。
使用テキスト	特にありませんが、必要に応じて紹介します
参考書(参考資料等)	
その他(受講生への要望)	希望者には、NPO活動のインターン、体験活動の紹介も行います。

2017/04/07(金)13:14

授業科目名	現代ビジネスと起業		
担当者名	奥山睦		
授業コード	102101201	開講キャンパス	目白キャンパス
開講年度学期	2017年度 前期	開講期・授業区分	週間授業
単位数	2.0	年次	2
授業の概要と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の現状と労働環境について考える。 ・世界的な働き方の潮流を見つめながら、女性のキャリア形成について考える。 ・安倍政権が掲げる「働き方改革」について理解する。 ・企業で活躍する方や創業者(OGも含む)が、どのような働き方をしていたかという話から、働き方の選択肢のひとつに「起業」があり、学生時代及び就職後のキャリア形成について理解する。 		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マイケル・E・ポーターのCSV(共通価値の創造)の考え方から、持続可能な社会づくりにおける働き方としての起業を考える。 ・レジリエンス(迅速な回復力)について理解する。 ・グループワークの実施によって、共創力とは何かについて理解する。 ・学生時代及び就職後の起業に至るキャリアパスについて考える。 		
授業計画(半期15項目、 通年30項目 回数毎の内容含む)	<p>第1回目 講義オリエンテーション マイケル・E・ポーターについて</p> <p>第2回目 レジリエンスとは何か</p> <p>第3回目 人口オーナスと産業構造の変化</p> <p>第4回目 多様な労働形態について考える(正社員、契約社員、派遣社員、パートタイマー、個人事業主、企業経営者など)</p> <p>第5回目 「ハウスワイフ2.0」を考える ー米国の自分で生き方を選択するハウスワイフ2.0現象について</p> <p>第6回目 ライフステージと女性のキャリア</p> <p>第7回目 日本の働き方改革</p> <p>第8回目 女性の活躍推進政策の国際比較</p> <p>第9回目 組織人から創業者へのキャリアチェンジ/起業目的の明確化・目標設定</p> <p>第10回目 「キャリア権」を考える</p> <p>第11回目 先輩女性の創業事例①(大学を経て創業)</p> <p>第12回目 先輩女性の創業事例②(IT系企業で創業)</p> <p>第13回目 先輩女性の創業事例③(事業承継による第2創業)</p> <p>第14回目 先輩女性の創業事例④(音楽家OGの創業)</p> <p>第15回目 総括</p> <p>* 事例発表の方のご都合によっては授業内容が若干変動する事があります。</p>		
成績評価の方法	期末レポート60%、小レポート40%		
授業外で行うべき学修(準備学修・事後学修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイケル・E・ポーターのCSV(共通価値の創造)が発表された2011年の社会環境(産業、経済、時代の潮流等について)を調べること。 ・安倍政権の「働き方改革」について調べること。 		
使用テキスト	『折れない』中小企業の作り方』奥山 睦著 日刊工業新聞社		
参考書(参考資料等)	『ハウスワイフ2.0』エミリー・マッチャー著 森嶋マリ訳 文藝春秋 『レジリエンスとは何か』枝廣洋子著 東洋経済新報社		
その他(受講生への要望)	プリント資料を毎回配布するので、予習・復習をすること。		

